人生をデザインする

お互いの発想のよさや，形や色の美しさなどを感じ合い試行錯誤する中で，自分自身のイメージが深まる。材料や場所に積極的に働きかけ，形や色をとらえ，そこから生まれるイメージを基に，思いのままに発想や構想を繰り返す。それぞれが感じ取ったよさを伝え合うことを通して，自分の活動についても振り返り，よりイメージが深化する。深まったイメージは，次の表現活動へのエネルギーとして働き始め，自身の努力や表現に対して誇らしい気持ちをもてる。その気持ちは，将来的には，生涯にわたっての自己構築をしていくエネルギーとなっていくのではないか。つまり，自己の人生をデザインしていける力と結びつくということである。

子どもたちが、造形活動を通して高められた力をもち，生活や社会と主体的にかかわりながら，知識や技能を駆使して自己の人生を切り開いていく姿をイメージし，図工・美術の時間を大切にしていきたい。

青森県弘前市立朝陽小学校　教諭　八嶋　孝幸